

# 令和6年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和6年10月1日

新宿調理師専門学校

# 目 次

<b>教育目標と本年度の重点目標の評価</b> .....	1	5-16 就職等進路.....	22
<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像</b> .....	2	5-17 中途退学への対応.....	23
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-18 学生相談.....	24
<b>基準 2 学校運営</b> .....	4	5-19 学生生活.....	25
2-2 運営方針.....	5	5-20 保護者との連携.....	26
2-3 事業計画.....	6	5-21 卒業生・社会人.....	27
2-4 運営組織.....	7	<b>基準 6 教育環境</b> .....	28
2-5 人事・給与制度.....	8	6-22 施設・設備等.....	29
2-6 意思決定システム.....	9	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	30
2-7 情報システム.....	10	6-24 防災・安全管理.....	31
<b>基準 3 教育活動</b> .....	11	<b>基準 7 学生の募集と受入れ</b> .....	32
3-8 目標の設定.....	12	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	33
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-26 入学選考.....	34
3-10 成績評価・単位認定等.....	14	7-27 学納金.....	35
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	15	<b>基準 8 財務</b> .....	36
3-12 教員・教員組織.....	16	8-28 財務基盤.....	37
<b>基準 4 学修成果</b> .....	17	8-29 予算・収支計画.....	38
4-13 就職率.....	18	8-30 監査.....	39
4-14 資格・免許の取得率.....	19	8-31 財務情報の公開.....	40
4-15 卒業生の社会的評価.....	20	<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	41
<b>基準 5 学生支援</b> .....	21	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	42
		9-33 個人情報保護.....	43
		9-34 学校評価.....	44
		9-35 教育情報の公開.....	45

<b>基準 10</b>	<b>社会貢献・地域貢献</b>	<b>46</b>
10-36	社会貢献・地域貢献	47
10-37	ボランティア活動	48

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和6年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>☆教育目標は、「調理師に必要な専門的科学的知識及び技能を修得せしむるとともに、社会人としての教養を高め、心身共に健全な真に役立つ調理技術者を養成することを目的とする」である。</p> <p>☆調理師を職業にする生徒に対して現場の新人としてお役に立てる人づくりを目指している。そのために、人間力に重点をおき、マナーとモラルが身に付くように教員自らがお手本となり、挨拶・返事・清掃を励行し、良き習慣を付ける躰教育を実践する。調理は調理現場にて求められる基本技術の反復により徹底的な習得を授業で施す。</p> <p>☆「与える教育」から「自らが気付く教育」に転換して実施している。</p>	<p>☆調理技術のみならず、「整理・整頓・清潔・清掃・躰」を養う教育を行う。</p> <p>☆調理師は飲食サービス業の一員として笑顔あふれる接客スキルが必須と考える。「挨拶」「返事」の意義を伝え、日頃より調理実習や掃除などを通して実践を重ね、社会人レベルのスキルを身に付ける。</p> <p>☆調理現場にて求められる基礎技術を徹底的に身に付けさせる。</p> <p>☆埼玉県さいたま市にあるファームインさぎ山にて農業体験を行い、稲作などを通して天地自然のありがたみなど感じさせる授業を展開する。</p>	<p>☆社会人としての最低限のマナーである「挨拶」「返事」は、来校されたお客様から評価を頂くなど、少しずつ身について来たことを実感しているがより精度を上げた挨拶が出来るように教職員自らが実践する。</p> <p>☆実習ではサポート講座等を開催し技術面において生徒全員が目標達成できるように取り組んだ。</p> <p>☆本年度より埼玉県さいたま市を場所を移して実施している農業体験は農家講師と打ち合わせのもと、米、野菜を育て、田植えは全校生徒に参加を呼びかけ実施した。</p>	<p>☆当たり前のことを当たり前に行う凡事徹底こそ人間にとって一番難しく、良き習慣を「身に付ける」には、日々の繰り返しが必須です。その認識を教職員が持ち続け、行動で学生を導かない限り、本校の教育理念は達成することは難しいと考える。高い意識を持った教職員が一致団結して取り組むということが必須課題である。</p> <p>☆授業として実施するのは当然だが、一見関係のないように見える別の授業や授業外の学校生活においても、良き習慣を行う。整列整頓、床のごみ拾い、教科書ノート準備、名札着用、あいさつ、返事、アイコンタクト、受講姿勢、礼作法、笑顔などの一つひとつの躰を丁寧に指導して仕事に取り組むにあたり、大切な心構えの習慣を指導する。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>教育目標</b>            教育目標は、「調理師に必要な専門的科学的知識及び技能を修得せしむるとともに、社会人としての教養を高め、心身共に健全な真に役立つ調理技術者を養成することを目的とする」である。</p> <p>調理技術、知識のみならず社会人としてのマナー・モラルを身に付けさせる教育を行っています。</p>	<p><b>☆倫理と道德の躰</b>            教職員が率先垂範で取り組む。</p> <p><b>*躰の三本柱</b>            ・元気な返事 ・明るい笑顔の挨拶            ・使う前より綺麗にする後片付け</p> <p><b>*入学式、卒業式における決意の点呼</b>            式典内にて呼名を行い、参列の保護者や就職先企業の方の前で、決意の返事を披露する。</p> <p><b>*片付け・清掃について</b>            掃除を通じた「気付き」により、衛生観念や仕事の段取り、チームワークを学ぶ。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	学則にて教育目標について定めている。	理念の共有を行う。	教育目標に沿った取り組みをおこなっているか確認する。	学則
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	心身共に健全な真に役立つ調理技術者を養成することを目標としている。	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会にてカリキュラムの検証、提言をいただき参考にしている。インターンシップ評価表より育成課題を見出し改善に取り組んでいる。	指導する教員は、年々現場とかけ離れていき現場感覚が鈍くなる。学生や社会（現場）が求める流れをつかむために、研修を実施する。	学校案内書 実習授業年間計画
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	仕事のおいての姿勢を挨拶、返事、掃除などの躰教育から学び、基礎技術の修得をさせるカリキュラム構成している。	調理師としての基本技術修得だけでなく社会人としての躰（あいさつ・返事・清掃）、を身に付ける指導を徹底的に実施する。	全教職員が率先垂範で示し続けることが、生徒の教養育成になります。	学則 学校案内書
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	時代に応じた対応をするために、情報の収集・分析を行っている。	生徒からの学びのニーズや企業との話し合いより業界人材ニーズを分析し、必要なカリキュラムを取り入れる。	生徒や業界からの情報を見逃さない。また、業界にも本校の教育理念と生徒の本質を理解いただくことに努めます。	学校案内書 実習授業年間計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒が調理師という職業を夢見て入学してくる以上、業界に望まれる人材として「調理の基本技術」は勿論のこと、それ以外に「挨拶、返事、掃除」の躰とを身に付けさせることが養成施設としての役目と考えられる。同時に生徒の心の育成に必要な学びの成果発表として行事を行い、楽しかった学校生活の思い出作りに結び付けるための授業展開をしている。	「挨拶」に関しては職員自らが常に先手で生徒へ「おはようございます」と声掛けし見本を示すことで導いている。「返事」に関しては「打てば響く、素直な返事」が重要であると認識し取り組んでいる。生徒の成果発表の場として調理祭も開催している。

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆適正な運営</b> 調理師法の規定に沿い、調理師養成施設指導要領及び専修学校基準に基づいて新宿学園寄付行為に法り学校運営を健全に行っています。組織運営は、新宿学園寄付行為において明確に定められている。</p> <p>学校理念に沿った事業計画・予算書を年度ごとに作成し理事会及び評議員会において承認を得ている。また、実施された前年度事業についても事業報告・決算として理事会、評議員会にて報告、承認を得ている。</p> <p><b>☆教職員の育成</b> 教職員が、効果のある生徒の教導育成が出来るよう、必要な研修に派遣し積極的に学びを進めている。</p> <p><b>☆教職員待遇</b> 仕事に専念できる待遇と環境作りに配慮している。</p>	<p><b>☆学校運営意思決定・伝達・・・定例会議</b> 理事長・校長が常在し、報告・連絡・相談をしているので学校の意思決定伝達が明確である。毎月の定例会議にて全教職員にて情報を共有している。</p> <p><b>☆情報の共有・報告連絡相談システム・・・朝礼</b> 教職員が毎日8時から朝礼を行い（シフト勤務対応のため、オンライン配信も実施）、情報共有、報告・連絡・相談がしやすい環境を整えている。これにより、様々な案件に対して学校方針に基づいた迅速な対応が可能となっている。</p> <p><b>☆教員力向上のために</b> 調理場研修・派遣 生徒を教え導く教員の技術力向上、調理現場での緊張感を持つために、調理場での研修を実施しています。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	調理師法の規定を守り、理念に沿った運営方針を寄付行為、学則、生徒心得にて定めています。	規定されている内容を的確に運営しています。	教員により認識の程度に差が出ることもあるので不明な点を必ず上長に相談を行うことを徹底し、理念や規定との整合性の確認をしています。	新宿学園寄付行為 学則・生徒心得

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営指針である学則の理解については職員間で差が出る場合があります。その理解の差で生徒に対して不利益が出てしまうのは問題であり、管理職の教員は全体的に視野を広げ、経験の浅い教員の指導育成をしています。また、不明な点は常に上長に相談し、確認することで学校組織としてブレのない運営を行っていくことが責務となります。	生徒の単位履修及び生活指導は、クラス担任が実務を行います。教務主任や実習主任を全体の相談役として配置することで、連携を取りながらクラス運営を行い、安定した学校運営に繋げています。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	年度前に事業計画を学園文書として明文化し、理事会・評議委員会の承認を得て定めています。	その事業計画を基に年間実施表を作成しており、執行体制・業務分担を明確にして実施しています。	行事ごとに反省会を開き、次年度に向けての見直しを図っています。	理事会議事録(学園文書事業計画) 事業計画年間実施表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
事業計画は教育目標を実現するための施策である。そのことを全職員が認識し、理解が進まなければ、目的のない取り組みとなり、教育効果が得られなくなります。教育目的の理解、浸透は学校の根幹となります。	毎日8時からの朝礼(全教職員によるミーティング)及び毎月の定例会議(全体会議)にて情報の共有を行っています。また、事業計画により実施された行事等の反省会を行い、次年度へ向けて改善しています。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	新宿学園寄付行為に基づき学園の運営を行っています。	理事会・評議員会は寄付行為に基づき開催し、必要な審議を行い適正な議事録を作成しています。	適正に開催・運営されています。	新宿学園寄付行為 理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	教育目標の達成に向けて学校運営組織の構築整備をしなければなりません。	教務課事務組織表及び総務課事務組織表にて示しています。	組織の整備はしているが、調理師単科の専門学校であるため、役割に固執せず、セクショナリズムを無くし、校是に沿った業務推進を全職員で行っている。	教務課事務組織表 総務課事務組織表 新宿学園寄付行為 会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新宿学園寄付行為において、運営組織が全て規定されています。	調理師単科の専門学校である本校において、全ての教職員が何事にも参画意識を持ち協力して組織運営を行うことで、校是に沿った統一された運営を目指しています。

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事については教職員就業規則、給与支給に関する基準は教職員給与規程にて定められている。	適正に運用されている。	特に問題なし	教職員就業規則 教職員給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員就業規則及び教職員就業規則にて、教職員が安心して業務に専念できる環境整備に努めている。	特になし

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	職務規定において財務決裁は理事長、教務決裁は校長に意志決定の権限があると明文化している。	規定通り運営している。	生徒指導に直接関わる全ての教職員が、あらゆる事象に対して改善意識を持ち、日頃から意見を提案しやすい環境を整える。	新宿学園寄付行為 組織規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務及び財務の業務は各種規定に則り行っている。毎日の朝礼の中で情報を共有し問題点を提示しており、また毎月行われる定例会議において、理事長・校長を含め判断し、運営することで、学校の活性化に結びつけられると考えています。	教職員の提案に対して理事長・校長・主任が迅速に対応できる環境である。

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報のシステム化により業務 の効率化を図る。それに並行し て個人情報の安全面も考慮す る。	教務課業務に関して、共有フォル ダー、および教務システムを 導入しデータ管理をしていま す。また、学生に関する情報管 理、セキュリティーについては 個人情報保護もあり重要であ ると考え管理している。	教職員間でシステムの理解レ ベルに差が生じており、職員教 育が求められている。セキュリ ティー管理は、個々の責任とモ ラルにおいて実施しているのが 実情であり、体制強化を図る。	学籍簿 成績表 学生証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報のシステム化をすることで、業務が円滑になっている。一方、システムの理解、セキュリティー管理の体制の強化が今後の課題である。	学生情報管理に関する事務的処理は担任の責任で行っています。また、その他、校務に関する事項は共有フォルダーにて管理し、迅速な対応をするために複数人で業務を進める体制が整っています。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆健全な運営</b> 調理師養成施設指導要領に基づき、卒業要件を学則に定め、確実に運営を行っている。</p> <p><b>☆業界に望まれる人財育成</b> 全ての在校生に必要な基本技術を授業内で修得実現させるカリキュラムを構成しています。成果発表の場として、調理祭にて調理作品展を実施しています。</p> <p><b>☆農業体験授業の取り組み</b> 天地の恵みに感謝し、調理師としての食の向かい方を学ぶ実践授業として積極的に取り組みます。稲作や畑の手入れ作業だけでなく、火おこしから全て自分たちで行う野外調理実践は、生徒の技術向上と精神力の向上につながる授業と心得て行う。</p> <p><b>☆生徒指導</b> 授業は、ただの知識教育の一環ではなく、良い習慣の躰となる重要な機会であることを認識して行う。 欠席が続く学生については、保護者への連絡を密に行い、家庭と学校の双方から支え、取りこぼさないよう指導・サポートを実施した。</p>	<p><b>☆調理実習</b> 年間行事としては、成果発表の場として、作品展示コンクールを行った。生徒は学びの集大成として生き生きと取り組み、自身の成長や課題を見出す事ができた。 専修科2年ではレストラン実習を行い、オープンキッチンの調理場にてお客様に見られながら実際にお代を頂く料理を調理している</p> <p><b>☆飲食サービス業の一員として</b> 調理師として料理を作るだけでなく飲食サービス業の一員を自覚するカリキュラムを構成している。 ① 「レストラン実習」においてはサービスも含め接遇の実践を行う。 ② 「スキルアップ講座」インバウンド対応の英単語コミュニケーションを実践的に行う。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

### 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育目標を基に教育課程の編成及び実施の方針を定めている。	業界・社会に望まれる人財養成が専門学校の使命であり、技術だけでなく挨拶・返事から始まる躰を徹底的に身に付ける。	教職員の技術向上を図るとともに清々しい挨拶の実践をする。	教育目標 サブスローガン
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	調理師として身に付けなければならない基礎技術と知識を、シラバスにて明確にし、生徒の取り組む指針としている。	通常授業内において、全員が課題を修得出来る年間授業計画を立て、実施している。 座学・調理実習とも試験を設定しているため、課題は明確である。	基本技術を身に付けることは、学生の器量により差が出てしまうので差に応じて各分野サポートを手厚く行い、徹底的に指導をしている。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師を職業する夢を描いて入学してきた学生達に、夢が叶えられるような教育を施す必要がある。昨今は授業だけでなくメンタル面でのサポートも必要不可欠となってきた。 総合的に、現場・社会に望まれる人財育成をすることが専修学校の務めであると考え。	生徒の姿は、教職員の姿であることを自覚し、生徒の見本になるように心がけ、指導に取り組んでいる。 生徒のコミュニケーション力は年々低迷しているが、担任だけでなく、関わる教員が積極的に生徒に声をかける、気に掛けることで、漏れなく生徒の変化に気づくことができる。

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	調理師見習いとして即戦力になるよう、基礎技術の徹底修得者社会人としての躰とを教育編成している。	シラバスに基づいた基礎技術中心の授業と「挨拶」「返事」「掃除」の徹底による躰教育を展開する。	基礎的なことを身に付けるには、繰り返しの指導を根気よく続けることが必要である。	学校案内書 ホームページ シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	社会に望まれる人材育成には欠かせないと考える。	教育課程編成委員を開催し、学校運営に対する検証をし、業界目線で必要な提言をいただいている。	業界内では、本校卒業生に対して良い評価をいただいている。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会に望まれる人材育成には欠かせないと考える。	2年次には就職に向けて実践的職業経験のインターンシップを実施し、実際の調理現場を体験する。	インターンシップ終了後に企業様から個人成績表を提出していただき、それぞれの問題点を洗い出し、日常指導に取り入れている。	インターンシップ個人表
3-9-4 授業評価を実施しているか	常に生徒が目をは輝かせている講義を行うことが本質的な授業評価だと考えている。	授業に対する具体的な評価が声として上がった時に素早い対策・対応を行っている。	生徒の取り組み方がその授業の評価だと教職員が自覚し、常に生徒に向き合うことが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒の受講中の居眠りや欠席は、興味を引かない授業であることを自覚しなければならない。教職員は生徒の受講態度、取り組み方で自身の反省を顧み、改善する必要がある。特に自分の道を選択して学びに来ている専門学校においては、無駄な学びがあってはならない。	クラス担任を中心に生徒に寄り添う目の届く教育に取り組んでいる。生徒達から上がった小さな意見も上長に報告し、朝礼などで議題に上げて対応している。 担任だけでなく、授業担当・就職担当など教職員が一丸となって学生のサポートをしている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則に明記し実施している。	単位履修要件として出席時間・定期試験において合格基準を明確にして運用している。	適切に運用している。	学則
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	調理祭にて調理作品コンクールを開催している。	料理の卒業作品展を実施した。卒業作品展は1班4名の団体戦とした。	個人戦だったが団体戦に変更したことでグループ内で協力し合いながら作業することが出た。	学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
単位履修は、規定にそって確実に行わなければならない。その中で、授業の成果を表すために調理作品コンクールを行った。年々生徒のコミュニケーションスキルは低下していく中であえて団体戦にし、班で協力しあいながら作品を作り上げる学びを得ることができた。	調理祭の実施は外部の方々に授業成果をご覧いただく機会でもある。積極的に保護者、外部の方をお招きし、自身が授業成果を感じられるイベントとして実施した。

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	調理師免許取得の要件を満たした厚生労働省認可校である。	学則に則り調理師養成に努めている。	特になし。	学則 学校パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	調理師免許は卒業後、保健所申請により取得となる。卒業前に申請指導に力を入れている。	調理師免許について、座学授業内で詳細を説明している。また、技術考査は、座学各科目にて授業でケアをしている。	特になし。	技術考査合格者台帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師専門学校は、厚生労働省の認可により卒業後、保健所に免許申請をすると、調理師免許が取得できる。また、技術考査は在学中に限り受験でき、将来の専門調理師及び調理技能士の資格取得の際、学科試験免除資格になる。調理師としての重要な資格なので、調理師免許申請指導及び技術考査の合格に向けた授業を強化している。	技術考査は原則、在校生全員受験をすすめ、問題集を購入し各科目授業内で取り組んでいる。 食育インストラクターとフードアナリストの資格取得については、希望者を募って適宜対応している。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした教員を確保している。	資格・要件については該当する証にて確認し、その写しを保管している。	特になし。	教職員履歴書 調理師養成施設指導要領 専修学校設置基準
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員資質の向上は必要不可欠と考える。	飲食店での現場研修や、セミナーなど学校として積極的に派遣している。	教職員が研修の意義を理解し、自ら取り組む研修にして教員力の向上に努めている。	教員研修参加一覧
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	整備している。	教務課事務組織一覧に明記している。	組織図となっているが、業務は全教職員が協力して行わなければならない。	就業規則 教務課事務組織

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の最大のサービスは自身の資質向上である。その自覚のもと資質の向上を念頭に置いた取り組みを恒常的に行っていくことが大切である。	調理現場研修の参加 教員力を上げる講習会参加

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆即戦力の育成</b>            学校の社会的評価とは、一部の卒業生が調理師として華々しい活躍をすることだけでなく、全ての卒業生が即戦力として現場から評価され、生業として定着していくことであると考え。その取り組みの成果として教育課程編成委員会において、本校は調理師の養成として一番大切な基礎技術、躰教育が出来ていると評価をいただいた。</p> <p><b>☆職業定着を目指した就職率</b>            調理師業界は、入社から3年以内の離職率が50%前後になる業界である。調理師を目指す卒業生を送り出す学校としては、早急に対応を考えなければならない危機感を持っている。ただ、その高い離職率から、業界としては慢性的な人財不足であり、就職率については、様々な条件を望まない限り高い水準を維持している。従って、就職内定にとらわれず、職業定着ができる教育の質の向上に取り組まなければならない。</p> <p><b>☆調理師免許申請指導</b>            卒業前に国家資格である調理師免許の取得方法の説明や申請の意義等、指導をしている。また、免許申請に必要な診断書をスムーズに取得できるよう、学校と提携している医療機関にて集団受診を実施している。</p>	<p><b>☆適正重視の就職指導</b>            就職指導は、事務的な無料職業紹介業務を行うのではなく、和洋中の専任教員が各ジャンルの担当をし、生徒との面談を重視して行っている。業界実情を説明し、本人の目標に沿った将来設計のアドバイスも含め、保護者の意向を確認しながら活動を進めている。</p> <p><b>☆就職先の学校理解</b>            就職の受け入れ企業に実際に生徒が授業に取り組む様子を見てもらった上で、本校の教育指針を理解していただく。その中で卒業生の定着実績がある企業を信頼の置ける企業に、人事による会社概要説明と調理師による料理デモンストレーションを組み合わせた、オリジナルの学内企業説明会を開いている。この取り組みは、大切なお子様を保護者様からお預かりし、本校にて社会に役立つよう躰け、育成実績のある企業に人財としてお渡しする、「手から手へ」の精神に基づいた就職指針である。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	専門学校生徒にとって就職は最も大切なことのひとつである。希望者に対しては、常に就職率100%を目指している。また、辞めない就職を念頭に置き指導している。	就職の相談があった生徒にはクラス担任・実習教員が希望を聴取し、信頼のおける調理長に向けて訪問させていただき、最終的に本人の意志に基づき就職試験に臨んでいる。 本校の教育指針を理解いただける企業による人事からの企業説明と調理長の料理デモンストラーションを学内企業説明会として実施し、企業理解を深め就職活動へ結び付けた。	慢性的な人財不足の調理師業界では就職についてほぼ心配はないと考える。むしろ新人に関する離職率の高さの方が問題である。求人に来校していただいた企業様には、本校の取り組みをご理解いただき、企業側にも育てる意識を持っていただくよう取り組みを行っていく。	就職ガイド 卒業生就職データ 学生の就職活動報告

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師という技術職は、続ければ必ず手に職がつく仕事である。しかし、新人（3年以内）の離職率が50%近くと、定着しない現実があり、常に人財不足で求人は沢山ある状況が続いている。離職率の高さは調理師学校業界としては教育の結果が出ていないと考える。学校自らが反省し、新しい取り組みをしなければならない。 その取り組みとして躰教育「あいさつ」「返事」「清掃」と、調理技術を徹底して身に付け、社会に望まれる人財養成をしている。	「手から手へ」のスローガンを掲げ、調理師として育てていく理解のある企業のもとに直接就職することで定着率を図る。そのためには、企業に直接学校に来ていただき、実際の授業での生徒の様子を見て、学校の取り組みをご理解いただけるようご協力をいただいている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	調理師免許は卒業後、自らが保健所に申請することで取得となる。また将来、専門調理師の学科試験免除に結び付く技術考査は、全員合格を目指している。	調理師免許について、授業内、および卒業前に申請方法等の説明をしており、申請に必要な診断書は提携医療機関に協力をいただいている。 技術考査については、授業内で合格に向けたケアを行っている。	申請方法の具体的な説明を実施しているが、実際に調理師免許申請は卒業後になるため、追跡が出来ないのが現状である。	技術考査合格一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師免許取得による優位性として、取得後の経験年数が、専門調理師への通過点であることを生徒に周知していく必要がある。	調理師免許取得について、授業内および卒業前に詳しく説明をする。また、卒業前に提携医療機関にて診断書の集団受診を計画し、申請準備を整える。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	生徒が社会人としての躰を身に付けて就職し、職場から信頼されることで、定着率が向上すると考える。また、それにより企業から学校に対する評価が上がり、在校生の就職につながっていくことが、一番の社会的評価だと考えている。	教育課程編成委員の現場調理長から、新人の養成として一番大切な基礎技術、躰が出来ていると評価をいただいた。	生徒を送り出した企業からの求人数が社会的評価と考える。生徒1人に対し、約25倍の求人をお願いしている。今後の飲食業界の動向にもよるが、引き続き業界に望まれる人財育成を目指す。	就職ガイド

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
養成施設の社会的評価とは卒業生が現場に定着し、離職しないことであると考える。また、卒業生が来校して繋がりを続けることが母校への愛着であり、卒業生から見た学校の印象が最も厳しい社会的評価だと考える。	現場の企業より基礎技術、社会人としての躰が出来ていることと一定の評価を頂いた。 卒業生が抱える仕事の悩みを「いつでも相談」として受け付けている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆日常学校生活から察知する指導</b>            入学した生徒が全員卒業できるように、教員が生徒個々の変化を見逃さず、学校側から相談を引き出す努力が必要である。ホームルーム等で生徒の様子変化をいち早く把握してアプローチすることで悩みの解消につなげている。</p> <p><b>☆家庭と連携した指導</b>            学校生活が乱れている生徒は、家庭において保護者様が仕事などで忙しく実態を把握していない場合が多く見られる。生活の乱れについては保護者様と一体になって指導を進めていく必要があり、保護者様に生徒の学校での様子をお伝えするとともに、家庭での指導も併せてお願いしている。その過程で再三の学校指導にも関わらず他の生徒に対して迷惑を掛ける生徒に対しては、毅然とした対処を行っている。</p> <p><b>☆学生個々の事情相談対応</b>            経済的困難な生徒に対しては、公的奨学金機構の紹介や学費延分納許可を教務要領に沿って対応している。通学圏外の生徒には、提携している学生寮運営会社3社を案内している。</p> <p><b>☆就職活動</b>            毎年5月に就職活動オリエンテーションを実施し、就職に対する意識付けを行う。その後、生徒に対して担任および就職指導教員（調理実習担当）とで面談を実施し、保護者の同意も確認しながら、「手から手へ」の指針に基づき、きめ細やかな指導により進めていく。単なる就職ではなく調理師という職業が一生の生業となるよう会社訪問・インターンシップを通じて生徒自身が肌身で感じて企業選択をしている。</p> <p><b>☆思い出に残る学校生活</b>            卒業後も母校として愛されるように、沢山の思い出作りとなるような行事を展開・実施している。</p>	<p><b>☆担任・副担任制から指導委員会まで</b>            教員によるクラス担任制をとっているため、生徒の様子を詳しく把握することにより学校生活の安定を図っている。また、経験による指導力の差を補うためベテラン教員を教務主任に配置し、担任の力量だけでは対応できない案件のフォローをしている。また、毎日行う朝礼にて生徒指導における問題点を教職員間で共有している。</p> <p><b>☆保護者様の学校理解</b>            保護者様に学校理解をより深めていただけるよう、体育祭・調理祭などの学校行事へご招待をしている。その上で学校生活に乱れが出た生徒については、保護者様にすぐに連絡し一体となって指導している。また、定期試験後には、成績・出席・担任所見を保護者様にお届けしている。</p> <p><b>☆企業による業界を知る授業の実施</b>            就職年度クラス授業として5、6月に企業の人事部より会社説明、調理場より料理デモンストレーションを実施し、就職への意識を高め会社訪問へ結び付け活動を活発にしていきます。</p> <p><b>☆令和5年度学校行事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 4月21日 田植え</li> <li>* 9月8日 稲刈り（雨天中止）</li> <li>* 9月23日 シェフグランプリ</li> <li>* 1月21日 調理祭 作品コンクール</li> <li>* 3月8日 卒業式（卒業証書授与式）</li> </ul> <p><b>☆特待生制度</b> 本校オリジナルのエリート養成システム</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	卒業年次クラスの担任は、実習教員を配置し、生徒個々の性質を把握して就職を進めている。適正を見極め、就職指導教員（現場経験のある調理実習教員）と連携した指導を進めている。	就職相談がある生徒は保護者同意の確認を取り、和洋中分野別実習担当にから「手から手へ」の指針を基に安心してお預けできる企業様を中心に会社訪問・インターンシップを行い、本人の決断により就職していく。	生徒にとって就職は最も大切な案件であることを全教職員が改めて理解し、相談してきた生徒を速やかに、就職担当者に直接結び付けなければならない。	寄付行為 無料職業紹介事業 取扱規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は就職課という専管部署を設けていない。一人ひとりの生徒に全教員が寄り添い、担任を中心として希望する日本・西洋・中国・ホテル・給食に分科して、実習教員を配置している。相談のあった生徒には、将来の目標と個人の適性割り、相談より出した企業を提示し、学生自ら直接企業を訪問し場合によってはインターンシップを行うなど自らの意思で決めた就職に結び付けている。	進路を具体的に見定めていく履歴書の書き方講座や「挨拶」「返事」「清掃」の躰教育を重視した指導を実施している。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	学校の教育指針、特性を入学前の公開授業にて理解いただき、入学後のミスマッチをなくし全生徒が卒業していく学校を目指す。	近年、経済的困難が退学要因として最も上げられる。相談があれば、教務要領にのっとり最善の方法をアドバイスしている。個々により退学要因は様々であるが、速やかに生徒が学校に相談出来るよう、担任との信頼関係の構築をしている。毎日の朝礼にて生徒の情報を全教職員で共有している。	生徒の学校への向かい方は学校生活の様子に顕著に表れる。教職員がそこを見逃さず感知し学校側から相談を引き出し問題の早期対応が必要不可欠である。	退学届 各学科退学者数データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として退学率低減を常に念頭において運営している。退学要因は生徒個々により異なるが、早めに相談があれば教務要項にのっとり最善の指導を施すことが出来る。生徒の様子の変化を察知し学校側から相談を引き出すことが務めであり退学回避につながると考える。また、全教職員による生徒の情報共有により様々な角度から生徒をフォローしている。	生徒と担任を中心とした教員によるコミュニケーション 出席簿のチェック 担任による出席指導から始まり改善が見られなければ複数教員立ち合いのもと指導委員会を行い早期対応により退学に至らぬよう指導する。 令和4年度退学率 4・3％ 令和5年度退学率 9・4％

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	専門学校として対応できる相談は、教務要領及び学則に沿って最善の指導を行う。	経済的に困難な生徒には、無理なく計画的な納期を確認した上で学費の延分納を許可している。	日頃から教員から生徒に声かけすることで生徒との信頼関係を高めていく。	教務要領・学則 学費延分願 転部願
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生は日本語能力の確認を出願時に、しているので、言葉のコミュニケーションに不具合はない。よって一般生徒と同じ相談体制をしている。	クラス担任を通して個々の相談を受けている。	留学生を主体にした生徒構成でないので現状で問題ないと考えられる。	留学生データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教務要領及び学則に沿って対応出来ることや学内で起きた出来事については、徹底的に生徒の相談に乗っている。また日常的な心のケアは教員から生徒にコミュニケーションを取り続け信頼関係を構築することが問題解決の糸口になると考える。</p> <p>留学生においては、就業に近い、特定活動（日本の食文化海外普及人材）や特定技能（1号）などの在留資格が取得できるようになったため、留学生本人の希望を確認しながらサポートをしていく。</p>	<p>全ての生徒相談は常時受け付けており特に問題はない。</p>

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的困難の生徒には相談に応じ、個々の状況に対応している。	公的奨学金機構の案内及び窓口業務を取り扱っている。また、学費の延分納の相談に対して、教務要領に沿って対応している。	調理に携わるアルバイトを案内し、希望する生徒と企業をつないでいる。	奨学金対象者一覧 アルバイト求人票 学費延分納願
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校安全保健法に基づき健康診断を実施している。教育機関として、健康管理を行う体制整備は必要不可欠であると考えられている。	インフルエンザ・新型コロナウイルスなど感染性の疾病については、基準を設け状況に応じて対応している。	社会に向かって行く生徒に対して、健康管理教育が必要である。	学校安全保健法 健康診断表簿
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	通学圏外の生徒にとって住まいの心配を解消することは大切である。	学生寮運営会社3社と提携を結び紹介をしている。	問題なし	学生寮委託会社パンフレット 委託寮からの学生生活報告書
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	生徒より自主的に声が上がった時に、状況に応じて支援判断をしている。	企業によるレシピコンクール等、対外的な調理に関する活動の告知をしている。また、地域のボランティア活動についてのアナウンスも行っている。	生徒課外活動の学校支援は、生徒として模範であるからこそ応援されていることを自覚させる指導をしていく。	学校案内書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的なことは、学校が本人の事情と支払計画を把握し延分納を許可している。課外活動は、学校生活が模範となる者が享受できる支援であることを生徒に自覚させ、本質を貫いた活動を通じて有意義なものになると考える。	夜間部の学費と授業を週3日の2年制に変更することで経済的に厳しい家庭の生徒の選択肢を広げた。また、社会人の年々ニーズの高まりを感じている。

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20 保護者との連携体制を構築しているか	生徒に問題があった際は学校での状況の報告をし、保護者様と連携した指導を行っている。	保護者様に学校の取り組みを理解していただくために、入学式・体育祭・調理祭などの行事をご案内している。また、定期試験後においては成績・出席を保護者様に郵送している。	保護者様も仕事で忙しく、なかなか連絡がつかない場合については、問題解決が遅れる傾向にある。業務用携帯を保持し、比較的遅い時間でも連絡が取れるようにしている。また、メル、lineなどを活用している。	体育祭・調理祭保護者招待状 成績・出席表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校生活が乱れている生徒は、保護者様が仕事で忙しく、家庭にて実態を把握してない状況が多く見られる。学校生活に問題がある生徒に対しては指導をするが、乱れが改善しない生徒においては早急に保護者様に連絡してお互いの信頼のもとで連携しながら改善に取り組むことが必要だと考える。	学校指針の理解をいただけるように保護者様にはいつでも授業見学を実施している。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生の仕事相談は随時受け付けている。	相談があれば、無料職業紹介を行っている。	仕事相談はいつでも受け付けているが、実際に相談に来校する卒業生は、多くないのが現状である。HP等の活用など、周知の強化が必要である。	求人票 ホームページ
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	フレンドリー企業の調理長のもとで育てていただき、業界では講習会が多く開催されているので、卒業後に再教育プログラムは実施していない。	卒業生が仕事の相談のために訪ねてきた時に職場の様子を聞き、適宜アドバイスをしている。	特になし	特になし
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	それぞれの就学目的により、昼間部本科と夜間部本科に住み分けし、ニーズに応じたカリキュラムの実践をしている。	働きながら修学できるように平成30年度より夜間部を週3日2年制へ変更した。	中高年の方々の就職については苦勞を伴っているが、正社員に拘らない就労形態等の選択を勧めている。	学則 授業年度計画表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師においては、勤めている店舗の料理を忠実に実践しなければならない。また、調理技術研鑽においては様々な場所で行われており社会に学びの機会が豊富に用意されている。技術よりはむしろ調理師としての歩み方を先輩から学ぶ会が必要とされる。調理師専門学校としては、学びの機会が潤沢にある卒業生を対象と考えるより、離職しない生徒育成に力をいれなければならないと考える。	卒業生の相談は随時受け付けている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆施設・設備</b> 調理師養成施設指導要領に従って設備や教育用具を整備している。また、時代に即した設備・用具は毎年精査して教育上必要不可欠な物に関しては、計画的に順次揃えている。</p> <p><b>☆企業との産学連携</b> インターンシップは本校の教育指針にご理解ある企業を中心に依頼し実施している。この機会を通じて、就職につながる生徒もいる。</p> <p><b>☆防災・安全管理</b> 包丁や火を扱う調理は、小さな怪我はどうしても避けられませんが、器具の安全な取り扱い方や、お互いの声掛けの周知徹底により大きな事故や怪我の防止に努めている。</p> <p><b>☆防災備蓄品の完備</b> 東日本大震災に伴い、防災危機管理の意識を高めました。万が一に備え、帰宅困難学生に対して、全校生徒分の非常食、水や毛布の備蓄をしている。</p>	<p><b>☆学びのしやすい環境</b> 和・洋・中・製菓全て必修授業で取り組んでいる。全てのジャンルにおいて専用のデモルーム及び実習室を完備している。令和元年日本料理デモルーム改装、令和2年中国料理デモルームを改装した。 調理の学びは科学的要素が強く実際に目で見て学ぶと効果があがるため、全ての座学教室において視聴覚器具（プロジェクター・書画カメラ・テレビモニター・映像再生機器・マイク等）を標準装備している。 また、令和4年11月に学校直営レストランがオープンし、実践の学びの場として、外部のお客様に料理を提供している。</p> <p><b>☆インターンシップ</b> 就職後の離職率の高さは、想像と社会現場の厳しさとの乖離が大きな要因だと考える。卒業まで学内だけの学びだけでなく、インターンシップで現場の雰囲気を感じることで、就職に向かう意識変化が起こることを目的とする。</p> <p><b>専修科2年次 調理インターンシップ</b> 就職活動に向けて、調理現場でのインターンシップを行い、社会に巣立つ覚悟を決めるための学びにつなげる。</p> <p><b>卒業年次 就職内定企業インターンシップ</b> 就職に向け、社会人になるための心構えをつけることを目的として行う。</p> <p><b>☆生徒の事故・怪我への備え</b> 生徒の怪我は学生傷害保険に加入して、その程度に応じて適用している。</p>

最終更新日付

2024年10月1日

記載責任者

内野 潤

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	調理師養成施設指導要領に沿った設備・教育用具等を整備している。	毎年精査し教育上必要不可欠な物は、順次備えている。	設備も29年を経過し、様々な個所でメンテナンス及び改装が必要となっている。その整備は、計画性をもって行っている。	調理師法施行規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設備・教育用具は、時代に即した対応が必要不可欠となる。その一方で生徒にとって有益な物、不要な物を精査し、教育にとって必要な物は順次揃えている。	和・洋・中・製菓全てにおいてデモルーム及び実習室を完備している。また、調理の学びは、科学的要素が強く実際に目で見て学ぶことで効果が上がるため、全ての座学一般教室において視聴覚器具（プロジェクター・書画カメラ・映像再生機器・テレビモニター・マイク等）が常設完備されている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか	生徒の社会的学びとして大切であると考え。	学外実習はインターンシップとして昼間部生徒全員に実施している。	履修の目的を明確にして実施している。	校外実習企業との協定書 校外実習個人表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校内だけの取り組みでは社会的接点が少なく、実践的な学びが行えない。インターンシップは実際の職場を体験できる機会となり、学外実習を通して就職に対する意識変革になる有効なカリキュラムであると考え。また、卒業年次には、社会人になるための心構えをつけることを目的として、就職内定企業へのインターンシップを実施している。	インターンシップ・・・本科・職業実践専門課程生徒全員 本科・専修科2年次…就職活動に向けた現場の実体験として実施している。 実際の調理現場で行っている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	沢山の生徒をお預かりしている教育機関として責任を持った組織体制整備、適切運用をしなければならない。	消防計画に定め、運用している。	災害による帰宅困難生徒へ対応は、1日分の非常食・水・毛布など常備している。コロナ過以降、防災訓練を実施していないので行う方向で考えたい。	消防計画書
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	調理実習は、常に危険と隣り合わせだが、器具の安全使用指導及び、互いの声掛けの徹底により、ほとんどが防げる。	授業担当教員及び助手の連携による学生指導により事故防止に努めている。また、閉校時に校内を毎日点検し、不具合等は逐次報告と早急な対応を実施している。	器具の安全使用や互いの声掛けは、現場においても従業員の安全において欠かすことの出来ないスキルである。その自覚を促す指導を周知徹底している。	学生傷害保険加入書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師は包丁や火を使う仕事のため、不意な怪我は起こるが、大きな事故につながったことはない。お互いの声掛けや器具の安全使用は現場では必須の教育事項である。	全生徒に対して学生傷害保険に加入し、万が一の怪我・事故に応じて適用している。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆学生募集</b>            ここ数年、入学生の8割強が学校見学に参加している。もちろん他校の体験入学にも参加し、比較検討して、最終的な入学を決めている。            少子化による入学検討者の顕著な減少を受け、他校との差別化を更に図り、選ばれる学校作りを常に念頭におき運営をしなければならない。</p> <p><b>☆入学選考</b>            調理師という職業に興味を持つ生徒に対しAO入試を行っている。            推薦入試については、推薦基準を明確に募集要項に掲載している。一般入試は、面接において調理師としてやる気を重視して選考している。            また入学直前には複数ステップのカリキュラムを構成したプレスクールを開催し、本校で学ぶ心構えを養成している。</p> <p><b>☆学納金</b>            昼間部在学生のうち40%以上の生徒が奨学金を借りて進学してくる。少しでも経済的負担を軽減するために、学校運営努力により学納金の軽減を目指している。            経済的困難者に対しては、教務要領に従い、個々に適した指導をしている。公的奨学金の説明及び窓口を行っている。            入学辞退者に対する授業料等の返還については、条件を募集要項に明記して奨学金を除く授業料を適正に返還している。</p>	<p><b>☆広報活動</b>            体験入学・説明会を入学検討者向けに開催している。調理実習や学校生活の様子を写真等に収めて、SNS やわかりやすい学校案内等に積極的に参加をしてもらっている。            また、1階を改装し、2022年11月より学生レストランを運営することで、生徒達の学習風景を間近で体感できるようにした。</p> <p><b>☆AO入試</b>            AO入試は、本校が最も大切とする「挨拶・返事・」を感じてもらうべく、挨拶1分間スピーチ、学科試験を行っており、来校またはオンラインにて試験を実施している。</p> <p><b>☆夜間部</b>            卒業までの学費総額を令和5年度より夜間部は98万円に増額した。            コロナ禍のニーズに合わせ、夜間部の始業時間を16時20分に変更した。時間については主婦層や年配の方々からの入学希望が集まったため、増額に関わらず定員は満員となった。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育理念をご理解いただくために積極的に取り組んでいる。	定期的な学校情報の送付、高校訪問や進路ガイダンス参加を実施している。	学校理解には実際に来校して見ていただくことが重要だと考える。その為のイベント、話題作りが課題である。	
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	広報部を中心に全教職員が協力して行っている。	いつでも都合が良い来校し、学校見学をしていただけるようにしている。	特に問題なし	体験入学ハンドブック 学びの風景（フォトブック）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学生の8割強が学校見学に参加した生徒である。学校見学で本校の指針を理解して入学してくると授業への取り組みも良くなり、更なる教育効果を上げるカリキュラムが施せるようになる。入学前に心構えが出来ていることは、生徒・学校双方にとって学びの相乗効果が表れる。	入試合格者がプレスクール（事前授業）を受講することにより、学びの心構えが備わり、入学時から一歩進んだ取り組みが出来る。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	調理師になりたいという「意欲」「適正」「協調性」を判断材料とし各選考方法に当てはめて適切な選考をしている。	各入試の選考基準を明確化し、募集要項に記載している。	本校独自のAO入試は、特に選考基準を明確に図れる試験である。	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	学生募集システムと学生管理システムを導入した。紙媒体としても、入学願書提出者は一覧として記録保存している。	クラスごとの力量バランスが良くなるようにクラス分けの参考にしている。	授業内容は、分かりやすく興味を持つ内容に重点を置き、居眠りをさせない、ノートが書ける授業を施している。	入学願書提出一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「調理師」という仕事に向けて素直に取り組む姿勢を重視し、卒業までに知識・技能だけでなく「挨拶」「返事」「後片付け」など素直で謙虚に取り組む姿勢を躡けることが本校の教育である。	AO入試（自己推薦）は、調理師という職業に強く興味を持ち、入学前に本校の理念を理解して本校で学びたい生徒を対象に選考している。しかし直近では、心が弱く、集団に馴染めない生徒も多い。入学後の学校生活においてはこれらを踏まえてサポートをしなければならない。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学校として用意したカリキュラム・施設、設備に対する適正な学納金を算出した上で学納金を算定している。	授業に必要な包丁、および教科書を学校で準備し、貸出制にて授業を行うことで、学用品代金を大きく減額している。	包丁及び教科書購入希望者には販売窓口を整えている。 年々経済的困難の生徒が増えおり、希望する生徒に公的奨学金の説明をして取り次ぎ業務を行っている。	教務要領 募集要領 奨学金借入生徒一覧
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退について募集要項に記載し、授業料等について適正な取り扱いを行っている。	3月31日までに入学辞退の意志を示した者に対して、入学金を除いた授業料を返還している。	特に問題なし	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は各学校により用意されたカリキュラムや設備維持に見合った算出により適正な学納金提示されるものである。	生徒の負担減の為の学用品貸出制による学用品代減額

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆財務基盤</b></p> <p>昨年度実績を踏まえ生徒数及び収支見込額に合わせて予算編成を行う。現状においては、借入金は無く財務基盤は安定しており、募集定員数割れ及び生徒数減少に伴い学費収入の減少傾向が近年続いている。</p> <p>率先垂範にならって教職員が生徒に模範となる行動を取り、総務課と教務課が一体となって生徒指導・就職指導に取り組み、本校の独自色を打ち出して他校との差別化を図り、調理師専門学校として本校の存在意義をアピールし、本校の付加価値を追求して生徒数確保を目指す。</p> <p><b>☆予算・収支計画</b></p> <p>単年毎に事業計画を策定して予算案をまとめ、理事会の承認を受けて評議員会へ報告するといった適格な手順を踏まえている。</p> <p>生徒数予測に基づいて無理のない予算編成と学校法人経営を行う。</p> <p><b>☆監査</b></p> <p>顧問税理士からの会計指導を受け、さらに監事2名体制による財務監査を受ける。いずれも指導を受ける際にその都度、修正処理を行う。</p> <p><b>☆財務情報の公開</b></p> <p>私立学校法に基づき、財務諸表および事業報告書等は関係者からの求めに従っていつでも開示する。本校ホームページ上には学校公開情報ページを掲載しており、誰でも閲覧可能とする。</p>	<p><b>☆本校の特色</b></p> <p>本校の特色の一つに、調理のジャンルを限定せず、日本・中国・西洋の各料理を実習で幅広く学べる点が挙げられ、調理実習室とは別に専用デモルームを装備している。その他、卒業生の名店有名シェフによる特別授業のほか、フルーツカット研究会やカクテル研究会の生徒会活動、稲作の農体験授業など、本校ならではの学びの機会を提供することを付加価値としている。</p> <p><b>☆収益性の向上と収支バランスの改善</b></p> <p>近年の生徒数減少に伴い、学費収入の減少が経営課題となっている。予算を超えないように常に注視することはもちろん、収益確保のために、令和7年度より学習用品としての包丁販売を再開する。さらに、昨今の物価高騰に加えて教職員人件費UPを見据え、令和8年度入学生より学費改定を予定するなどして収支バランスの改善に努めていく。</p> <p><b>☆施設・設備の改修</b></p> <p>校舎竣工30年を迎え、校舎の老朽化と施設設備の経年劣化に伴い大規模改修の必要性が出てきており、そのための財源確保には前述の収益性と収支バランスの改善が不可欠となる。生徒のより良い教育環境を整備するためにも補助金等を活用するなどして今後計画的に進めていく。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	飯田 清隆
--------	------------	-------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	現在の財務基盤は借入金が無く安定している。一方で、少子高齢化がますます進んでいく中で生徒数の減少および学費減少の対策として、収益性の改善を見据えた中長期計画を立てて実践し、学校経営の恒久的な安定を目指していく。	現生徒の出身校への訪問、資料請求者へのDM発送、広告代理店タイアップの入学説明会などを通して、オープンキャンパス、体験入学等のイベントへ誘致し、入学エントリーに繋げる広報活動を強化する。	募集定員数割れに伴う収益減少を課題としてある。収益性の改善のために、収入に見合った予算管理と全教職員挙げての広報活動を強化する。	令和6年度事業計画
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	日本私学共済事業団が提示するキャッシュフローの推移を参考にしている。	入学者数及び現生徒数からの学費等収入見込額を基に昨年実績を踏まえて予算編成をしている。	近年の収益減収により、収支バランスの改善が必要と考えており、令和7年度より学習用品として包丁販売を再開し、学費以外の収益獲得を見込んでいる。	令和5年事業報告および収支計算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本私学共済事業団が提示するキャッシュフローの推移を参考に、昨年実績と学費等収入に沿った予算編成と予算管理を行い、引き続き健全な学校法人運営を行っていく。	全教職員が一丸となって、生徒指導・就職指導の根本をしっかりとすること。本校ならではの付加価値の追求と存在意義を高め、生徒確保に全力を挙げて取り組む。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	飯田 清隆
--------	------------	-------	-------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	年度末に新年度の事業計画と予算案を作成し、審議を行う。	新年度の事業計画および予算案を作成し、理事会での承認と評議員会への報告をした上で実行する。	出願状況と現生徒数から学費等収入を予測し、充実した修学を提供できるように予算を決定する。近年の入学者数の減少傾向に伴い、収支のバランスを安定させることを課題として捉えている。	令和6年度事業計画 令和5年度収支計算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	理事会承認、評議員会への報告の手順に沿って、事業報告および新年度予算の審議を行う。	監事2名による会計・財務監査を受け、また監事には理事会・評議員会にも同席して頂き、予算実行と適正処理がされているかのチェックを受ける。	日常の会計処理については顧問税理士に指導を受け、その都度是正を行う。	令和5年度事業報告および収支決算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3月中に新年度の事業計画および新年度予算案を作成し、理事会にて審議して承認を受ける。5月中に理事会にて事業報告・収支決算を審議したのち、評議員会への報告を行い、東京都へ届け出する。	特になし

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	飯田 清隆
--------	------------	-------	-------

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	顧問税理士による指導を受けて会計処理を行い、監事2名が財務監査を受ける。	監事2名より決算処理の会計・財務監査を受け、理事会・評議員会にも同席して頂き、予算実行について指導を受ける。	特に問題なし。	理事会議事録 監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
顧問税理士による会計処理と、監事2名による財務監査の二重チェックを受ける。	本校監事に関して、元新宿税務署長の熱田稔敬先生に平成17年から、学校会計のエキスパートである白土英成先生に平成26年度から、それぞれ監事を担当して頂いている。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	飯田 清隆
--------	------------	-------	-------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に従い関係者にはいつでも閲覧できるよう開示する。	学校関係3表（資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表）を期日内に作成する。貸借対照表、資金収支計算書、財産目録、および事業報告については、本校ホームページに掲載し、誰でも閲覧可能とする。	特になし。	令和5年度事業報告、貸借対照表、資金収支計算書および事業活動収支計算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法の規定に従って、4月末までに決算財務諸表および事業報告を作成し、5月に理事会の承認と評議員会への報告を終えた段階で情報公開する。	特になし。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	飯田 清隆
--------	------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆関係法令、設置基準の遵守</b> 厚生労働省大臣指定の調理師養成施設校であり、法令遵守を徹底し、その規定された範囲の中で教育目標に則り調理師を養成するカリキュラムを研究し、調理師として必要な授業を実施していく。</p> <p><b>☆学校評価</b> 社会に貢献できる調理師育成については、時代の流れの中で常に進化させなければならない。教育課程編成委員会でいただく調理師現場から意見と学校関係者評価委員会から挙がる卒業生、社会の目線からいただくアドバイスを受け、改善点については迅速に対応しなければならないと考えている。また、自己評価は改めて本校の取り組みを見直す良い機会であると捉えている。</p> <p><b>☆教育情報の公開</b> これらの過程から構成される学校情報は、生徒、保護者、入学検討者に広く認知されるようホームページ上で公開している。</p>	<p><b>☆カリキュラムの編成</b> カリキュラムは毎年精査を行っており、関係法令を遵守した上で、社会、生徒ニーズに合わせて必要と考えられる授業を行っている。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令や設置基準を遵守している。	カリキュラム変更などの学則変更は区または都の指導をいただきながら進めている。	特に問題はない	調理師法施行規則 専修学校設置基準

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
調理師免許取得に対し法令遵守の範囲内にて、社会に貢献できる調理師を養成するカリキュラムを研究し、調理師として必要な授業を施していく。	専修科（2年制）オリジナルカリキュラム 調理現場インターンシップ 良き習慣を身につける『おせっかい授業』～挨拶・返事・後片付け～ 感謝の心を育む『おかげさま授業』～掃除から学ぶ～ 大地から学ぶ『農と食と命のつながり授業』～農業体験～ 等

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	法律に基づき、学校が有する個人情報、いかなる理由においても流出してはならない。	個人情報保護に関する規則に基づいて適正に運用している。	教職員モラルの徹底を啓発している。	生徒等の個人情報保護に関する規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の管理は、教職員個人のモラルによるところがあるので、社会的な責任の自覚を啓発し続けることが大切である。モラルに反することが生じた場合は、厳しい罰則を与えることとなる。	特になし

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	実施時期を毎年度定め、点検・評価を行っている。	自己点検・自己評価報告書を作成している。	点検・評価を行える教職員の育成が必要である。	自己点検・自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価を毎年見直し公表するように取り組んでいる。	ホームページで公表している。	ホームページによる公表が最も効果的な方法であると考えられる。	自己点検・自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会を設置して自己評価結果に基づき評価を行っている。	学校関係者評価結果に基づき教育目標に基づいた教育強化に努める。	評価結果による改善点に対して迅速に取り組むことが重要である。	学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果を毎年まとめ公表するように取り組んでいる。	ホームページで公表している。	ホームページによる公表が最も効果的な方法であると考えられる。	学校関係者評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は法律を遵守して行わなければならない。自己評価を実施することは、改めて取り組みを見直すことができるため、積極的に行っている。今後も、情報公開に努めていく。	特になし

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	生徒が学校選択をするに当たり教育情報が判断基準になるため、知っていただかなければならないと考えている。	学校案内書・ホームページを中心にお知らせしている。	教育情報をご理解いただき学校を選択するには、見学に来ていただくことが重要と考えている。本校では、見学・体験入学を実施している。	学校案内書 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
責任ある学校運営を行っているので、学校の特徴を分かりやすく提示することが、生徒や保護者様、入学希望者の信頼を得ることだと考える。	特になし

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>☆社会貢献・地域貢献</b></p> <p>学校法人の性質上、社会貢献・地域貢献は必然であると考えます。しかし、その活動を通じて人様のお役に立つという考えだけではなく、参加させていただくことで、自分自身が行き届きの勉強させていただいていることに気付かなければならない。</p> <p><b>☆事前オリエンテーションの必要性</b></p> <p>学生ボランティア活動をはじめとする社会貢献活動については、事前にオリエンテーションを行い、活動の主旨を理解させる。また、活動を通じて生徒自らの学びになることを自覚させ取り組む姿勢をつけてから参加する。</p>	<p><b>☆シャイニングスターズ活動</b></p> <p>例年、新宿警察署主催の「若き防犯ボランティア シャイニングスターズ」として社会貢献活動に参加しており、昨年度においては「痴漢撲滅キャンペーン」「学生ボランティア合同避難場所対応訓練」「シャイニングスターズ創立10周年記念イベント」「特殊詐欺被害防止イベント」「歌舞伎町地区年末警戒合同パトロール」に参加した。</p> <p><b>☆その他の活動</b></p> <p>高校生や中学生に対する上級学校見学などその他、様々な社会貢献・地域貢献活動も行っている。</p>

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	社会や地域に貢献することは学校法人の性質上、必然であると考え。	中学、高校の上級学校訪問の受け入れを行った	職員の労務管理も鑑みつつ社会貢献活動、地域貢献を継続していく努力をしていく。	学園だより 学校 HP
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	外国人の日本食への興味は深いと考える。学校としても留学生の受け入れをはじめ、国際交流の取り組みを行っている。	昨年度は2名、学ぶ機会を得た。	ビザの取得の関係で入国できない事案があった。学校としては、学びたい外国人に不利益のないよう対応していく。	学校案内書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校自身が社会貢献・地域貢献を行っていくことは、生徒、教職員が社会と接する機会となり資質の向上につながります。貢献とは人様へ享受することではなく、学ぶ機会を頂いているものと考えます。	情勢を見ながら可能な限り取り組めるよう、常に準備を整えています。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動は学生が社会に接する良い機会であり、シャイニングスターズを中心として具体的な活動支援を行っています。	例年、新宿警察主催によるボランティア団体シャイニングスターズに登録し活動しています。	生徒の経済状況もあり、アルバイトの関係かの参加が減少傾向である。職員自身の意識向上が生徒の意識にも繋がると考え、積極的に取り組む	学園だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアの取り組みは、生徒が社会に接する良い機会となります。役に立って満足するという考えでなく、社会に触れることで何かを学び成長につなげたいと考える。	例年、新宿警察主催の「シャイニングスターズ活動」に参加している。

最終更新日付	2024年10月1日	記載責任者	内野 潤
--------	------------	-------	------